議会だより

9月定例会

平成2年度一般会計補正予算
平成元年度ガス水道事業会計決算
など6議案を審議可決

町議会9月定例会は、9月11日から21日まで開かれました。平成2年度の一般会計と国民健康保険特別会計の補正予算、平成元年度のガス・水道事業会計決算認定、老人福祉センターの契約変更の6議案を審議、6議案とも可決しました。請願は3件、陳情は2件が提出され、陳情1件が否決されたほかはすべて採択され、意見書が1件提出されました。一般質問には6人の議員が立ち、町の執行体制、消防行政、社会教育、ゴミの減量化対策、コメ輸入問題、児童遊園、町民参加の町づくりなどについて町長にただしました。

日程

9月11日（火）会期の決定、諸般の報告、行政報告並びに議案の上程、議案の説明・質疑・委員会付託（議案第44号、45号）請願・陳情の上程・質疑・委員会付託、議案の説明・質疑・討論・採決（議案第46号、47号）
12日（水）総務文教委員会
13日（木）産業建設委員会
14日（金）観光物産センター特別委員会
17日（月）厚生企業委員会
18日（火）一般会計予算審査特別委員会
19日（水）一般質問
21日（金）委員長報告・質疑・討論・採決（議案第44号、45号）請願・陳情の審査報告・質疑・討論・採決

議案

■平成2年度黒埼町一般会計補正予算（第2回）（議案第44号）

歳入歳出とも1億9062万8千円を増額し、総額54億8801万4千円に。

◎補正された主なもの

老人福祉センター建設費2655万3千円減（用地買収費5680万9千円減、外構工事費2599万3千円など）町道補修工事費2410万円、都市排水路改修工事費1080万円、信濃川河川公園工事費1560万円、減債基金積立金（財対分）5116万7千円、ふるさと創生事業基金積立金7702万4千円

■平成2年度黒埼町国民健康保険特別会計補正予算（第1回）（45）

4080万1千円を増額し総額10億7696万6千円に。

■平成元年度黒埼町水道事業会計決算認定（46）

6ページ参照。

■平成元年度黒埼町ガス事業会計決算認定（47）

6ページ参照。

■黒埼町老人福祉センター・デイサービスセンター新築（建築）工事請負契約の変更について（48）

厨房機器設備と機械浴槽設備について設計変更が生じたので3億1930万円で契約していたのを874万6760円減額し3億1055万3240円で㈱水倉組と契約する。

■平成2年度黒埼町一般会計補正予算（第3回）（49）

9250万円を増額し総額55億8051万4千円に。

◎補正された主なもの

（仮称）株式会社黒埼特産館建設費補助金1500万円、（仮称）株式会社黒埼特産館建設資金貸付金2500万円、（仮称）株式会社黒埼特産館出資金5250万円

請願

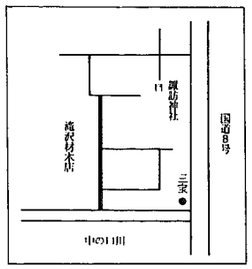
■善久新川向周辺の宅地排水を大野都市下水路前川原幹線に接続放流に関する請願書（請願第11号）

提出者　善久東自治会長（総代）磯部博ほか2名

大字善久字新川向（通称・丸運団地周辺）は大野都市下水の受益区域内にあるが、その恩恵に浴しておらず、この地域一帯の下水は町道鳥原寺地線東側の農地に調整池を設けているが、排水の便は極めて悪く、特に夏期には悪臭が漂い、害虫の発生源となり、付近住民から苦情が絶えない状況にあり、調整池の撤去を強く求められている。そのため、早急に現地踏査のうえ、都市下水路への流入工事の施工を請願する。

■町道認定および拡幅改良舗装工事に関する請願書（請願12）

提出者　諏訪町自治会長　長谷川四雄ほか1名



図の道は地域住民の通勤・通学のための大切な生活道であるが、狭く車の通行も不可能で災害時緊急時には迅速に対応できないとの声もあるため、町道認定および拡幅改良舗装工事を早急に実施されるようお願いする。

■「増血機能障害者対策の充実」に関する請願書（請願13）

提出者　新潟骨髄バンク推進連絡会議代表　金子和子

（国に対する事項）①国の責任で「公的骨髄バンク」を一日も早く実現してください。イ、提供者の善意と人権や患者のプライバシーが、確実に保証されるシステムとしてください。ロ、全国あらゆる地域で善意の輪を広め募るために、日本赤十字社、都道府県等がかかわるシステムとしてください。②骨髄医療体制を緊急に充実してください。イ、全国各地で患者が平等に骨髄移植を受けられるよう、骨髄移植センターの設置や保険点数の改善などを至急実現してください。　理由…現在、白血病、再生不良性貧血など造血機能障害者の根治治療法として健康な人の骨髄細胞を移植する方法が大きな成果をあげているが、白血球の型が一致した人からの骨髄血の提供が不可欠。しかしこの型の一致する確率は兄弟で4人に1人、他人で500～1万人に1人と極めて低いため、骨髄バンク（骨髄提供者登録機関）がこのような患者を救える唯一の制度である。（県に対する事項）①無菌室の施設充実と看護婦の充実を。②新潟県に骨髄バンクの機関が設置されるよう国に働きかけてください。理由…交通機関が発達し、関東や近県の患者が集りやすく、しかも骨髄移植の医療レベルが高く評価されている。（町に対する事項）新潟骨髄バンク推進連絡会議に貴市町村から補助金を交付してください。　理由…新潟骨髄バンク推進連絡会議は公的骨髄バンクの一日も早い設立と設立後の公的骨髄バンクへの協力を目的として、骨髄バンクの必要性等の啓蒙活動を行うための団体で、活動資金はボランティアの手作り品販売と募金で賄われている。活動内容は、①署名　②シンポジウム開催　③学習会開催　④機関紙発行　⑤提供者募集

※この請願に基づき「造血機能障害者対策の充実について の意見書」が内閣総理大臣、厚生大臣、大蔵大臣、自治大臣、新潟県知事に提出された。

陳情

■黒埼町立黒埼中学校体育館の新築に関する陳情書（陳情第6号）

提出者　黒埼中学校後援会長　坂井誠二ほか1人

黒埼中体育館は、昭和27年12月の建設、その後の災害等で老朽化が進んでいる。建設当時は屋外競技であったバレーボール・バスケットボールが室内競技となり、天井の低い体育館では競技不能の状況にあり、最近の生徒数増加に伴い全校集会も思うに任せず、卒業式では来賓席も確保できないありさまです。バレーボールのコート2面を確保できる広さと高さをもつ体育館、地階を生徒昇降口・自転車置場、降雪期にも土の上を走れる走路等に利用できる高床式の建設を望む生徒・町民の声もある。一日も早く黒埼中体育館の建設についてご配慮いただきますよう陳情します。

■パートタイマーの労働条件の改善を求める陳情書（陳情7）

提出者　高橋昌男

パートタイム労働者はわが国経済や地域経済の発展に欠くことのできない存在となっているが、パートタイム労働者を対象として法制はいまだ未整備であり、その社会的地位・労働条件・福祉などは極めて不十分であるため、以下の施策について速やかに実現するよう国の関係機関に意見書を提出するよう陳情。①パートタイム労働者の権利、労働条件の改善等を図るため「パート労働法」を早期制定すること。　②パートタイム労働収入および内職収入の非課税限度額について現行の100万円を150万円に引き上げること。　③パートタイム労働者に対する職業訓練指導等を行うこと、そのために施設の整備を図ること。　④パートタイム労働者の社会保険の適用率の向上を図るため、行政指導の徹底等、必要な措置を講ずること。　※否決

一般質問

（要旨）

収入役不在はいかなる理由から特別な理由はない。現在、検討

A議員　町の執行体制について①収入役不在はいかなる理由か。②9月定例会で教育委員の選任を行わない理由は

町長　①特別理由はない。検討はしている。②教育長には任期満了による円満退職をしていただきたいということで、見送った。後任については白紙。

専任の消防長を置かない理由は実態を見て、現在は兼務とした

A議員　消防行政について①専任の消防長を置かない理由は　②消防施設について③消防職員および消防団員の教育訓練について　④消防職員の人事と処遇について

町長　①少数精鋭主義を常に考えている。亀田・村松など町村段階では兼務が多い。県から指導があり、前町長には申し送って、消防長が置かれた。現在は実態を見て兼務ということに。②工作車の置き場所などスペースが十分とまでいかないが、今のところは大丈夫。消防庁舎の拡充は今のところ、明確に何年度に実施するとまでは考えていない。③毎年、県消防学校へ委託入学させている。消防職員は専門科課程へ入学させている。救助訓練などを総合体育館などを実施。消防団員には指導者研修等に入校させている。④定数満たすべく努力。また、広域的な中で人事交流できると考えている。

今年の消防出初式

選挙公約はだれに責任を負う町民ということになると思う

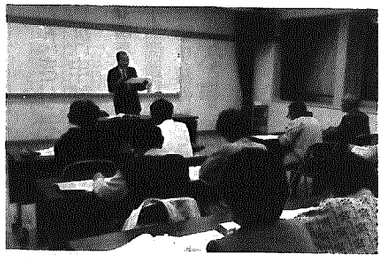
A議員　選挙公約はだれに責任を負うのか。

町長　町民ということになる。公約した本人自身の責任もあると思う。不信を信頼に、対立を協調にもっていくのが私の責任と公約している。

社会教育費は下越の市町村で何番目下越教育事務所管内で上から29番目

A議員　社会教育について①主な活動は　②社会教育費の下越教育事務所管内のベストテンとワーストテンは。

町長　①社会教育法に基づき社会教育団体の育成、委員の委嘱のほか、公民館・図書館などの管理運営、講演会や学級講座の開設、体育施設の管理運営、文化財保護に関する事業など。具体的には、歴史などの各種講座、町民つり大会、町民登山、作品展などをしている。青少年の健全育成事業としてわんぱく広場など


10月18日から始まった町民歴史講座